

認定こども園の新設計画に伴う対応方針について

江釣子地区において民間事業者から認定こども園の新設計画を申し入れられており、保育需要に応じた定員や保育環境、施設管理の面から検討した対応方針について協議するもの。

1 認定こども園の新設計画の詳細

令和5年5月に下記の事業者から、認定こども園新設の申し入れがあった。

■事業者の詳細

企業名 : (株)アイグラン

本社所在地 : 広島県広島市

事業内容 : 保育サービス事業
(認可保育園の運営など)

※北上済生会病院の事業所内保育園「なでしこ保育園」など、全国各地で464施設を運営

■認定こども園の概要

開園時期 : 令和8年4月

施設類型 : 保育所型認定こども園

建設予定地 : 上江釣子17地割地内

定員 : 168人

(1号60人、2号60人、3号48人)

※病児保育の実施、児童発達支援事業所の併設を予定

令和6年6月13日 議会全員協議会資料
健康こども部子育て支援課



■新設予定地



2 認定こども園新設によるメリット

認定こども園の新設により、園児・保護者、市にとって下記の効果が見込まれる。

【園児・保護者】

■良質な環境での保育提供の実現

既存園と比較して新設園はハード面の性能が向上しているため、空調設備により夏季・冬季も過ごしやすいくことや、安全性の高いセキュリティなど、良質な環境で保育を受けることができる。

■多様な子育て支援サービスの充実

病児保育(市内1施設)、児童発達支援事業所(江釣子地区に無し)が併設されるため、園児・保護者の状況に応じた多様な子育て支援サービスを受けることができる。

■少子化に対応したクラス規模の維持

幼稚園と保育園が一体化することで、一定程度のクラス規模を維持しやすくなるため、少子化の状況においても集団保育を受けることができる。

【市】

■認定こども園化の早期対応

第2期北上市子ども・子育て支援事業計画において「認定こども園化などを行い、教育・保育施設の効率的な運用及び適切な集団規模の確保に努めます」と方針を示しており、この内容について早期の対応が可能となる。



園児・保護者、市、両者にとってメリットが大きいことから、
認定こども園の新設を前提として検討を進める。

3 認定こども園新設に伴う課題と対応方針

新設する認定こども園と近隣の公立施設3園(江釣子幼、江釣子保、鳩岡崎保)を合わせると、下記のとおり大幅な定員過多となり、需給バランスの不均衡が生じることから、公立施設3園の閉園に向けて検討を進める。

	建築年度	定員数	児童数
江釣子幼稚園	昭和45年	150	26
江釣子保育園	昭和55年	86	85
鳩岡崎保育園	昭和63年	52	51
新設前 計		288	162
新設認定こども園		168	—
新設後 計		456	162

4 今後のスケジュール

時 期	内 容
6月下旬	北上市子ども・子育て会議で対応方針を協議
7月以降	在園児の保護者、自治協・地域住民へ説明、意見聴取